

平成30年度中堅教諭等資質向上研修講座

申込期間終了時、受講希望者がいない講座は開講しません。

なお、対象校種ではない講座を希望する場合は、必ず事前に問い合わせをしてください。

岩手大学教育学部

| 講座名 | 講師 | 期間 | |
|----------------|------|------|----|
| 分野(教科指導の場合は教科) | 対象校種 | 講座形式 | 定員 |
| 講座内容 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 | | | |

以下、講座番号順に上記内容が記載されています。

【講座番号 1】

| わかりやすい漢文指導 | 藪 敏裕 | 8月7日(火)～8日(水) | |
|--|------|---------------|--|
| 教科指導(国語・漢文) | 中・高 | 講義・演習 | |
| 研修者のこれまでの研究や実践経験を踏まえ、わかりやすい漢文指導について考える。 | | | |
| 持ち物: 各人の使用している国語の教科書と必携等の副教材を持参すること。 | | | |
| 連絡事項等: 7月31日までに、各自が漢文指導で問題と思う点についてメールしてください。 (宛先: yabu@iwate-u.ac.jp) ・『漢文法要説』(西田太一郎・朋友書店・1500円)と改訂版古典中国語文法(太田辰夫・汲古書院・2000円)の2冊を使用しますので、購入しておくか、こちらで取り寄せるので購入希望者は事前に連絡し現金を当日持参してください。 | | | |

【講座番号 2】

| 『走れメロス』『竹取物語』『故郷』等定番教材を読み直す | 田中成行 | 8月10日(金) | |
|--|------------|----------|-----|
| 教科指導(国語) | 幼・小・中・高・特支 | 講義・演習 | 20名 |
| いわゆる定番教材といわれる『走れメロス』『竹取物語』『故郷』等の教材としての価値を、作家論や作品論を具体的に確認し、教材としての価値を率直に論じあって、今、学び合う教材としての価値を追究する。 | | | |
| 持ち物: 辞書 | | | |
| 課題: 定番教材の価値を、具体的にご自身の経験をふまえてまとめておく。 | | | |

【講座番号 3】

| 日本語の未来 | 大野眞男 | 8月16日(木) | |
|--|-------|----------|--|
| 教科指導(国語)・その他の現代的教育課題 | 小・中・高 | 講義 | |
| 現代日本語が直面している課題を、情報化、価値観の多様化、グローバル化の三点からとらえ、学校教育における国語科の指導内容にどのように反映しているかを考え、併せて日本語の未来の姿を展望する研修を行います。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【講座番号 4】

| 中高国語科授業のためのメディア教材活用について | 菊地 悟 | 12月26日(水) | |
|---|------|-----------|-----|
| 教科指導(国語) | 中・高 | 演習 | 10名 |
| 中学・高校の国語科授業において生徒の興味・関心を高め学習意欲を上げる効果がありそうな教材を、インターネットやCD、DVDなどから紹介し、活用法を考察していただきます。 | | | |
| 連絡事項等: 授業でのメディア活用の実例がありましたら、お持ち寄りください。 | | | |

申込締切: 平成30年6月29日(金)【必着・厳守】

【 講座番号 5 】

| | | | |
|---|-------|---------------|--|
| フィールド・ワークと地図による地理学的な指導 | 遠藤匡俊 | 8月2日(木)～3日(金) | |
| 教科指導(地理学) | 小・中・高 | 講義・演習・実習 | |
| フィールド・ワークと地図を用いることで、地理学的なものの見方を育むような方法を紹介します。 | | | |
| 連絡事項等：外を歩きます。身軽な服装でご参加下さい。 | | | |

【 講座番号 6 】

| | | | |
|---|-------|-----------|--|
| 通時的テーマ設定に基づく世界史の主題学習 | 安井もゆる | 12月27日(木) | |
| 教科指導(世界史) | 高 | 講義 | |
| 世界史の主題学習には様々なやり方が考えられるが、1つの方法として、古代から近現代まで貫通する、また西洋と東洋世界にまたがるテーマを設定することは、世界史を巨視的にとらえる目を養う意味で有益である。本講座では、そのようなテーマ設定の実例をいくつか紹介する。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 7 】

| | | | |
|---|------|---------|--|
| 初等整数論入門 | 吉井洋二 | 8月8日(水) | |
| 教科指導(数学) | 高 | 講義・演習 | |
| 合同式、不定方程式、連分数、フェルマーの小定理、オイラーの定理、原始根、循環小数などについて解説する。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 8 】

| | | | |
|---|------|-----------|--|
| 小中学校理科で柱となる「粒子の概念」をどのように扱うか？ | 菊地洋一 | 12月26日(水) | |
| 教科指導(理科) | 小・中 | 講義 | |
| 今後、基礎基本事項の活用がますます重視されるであろう。小中学校の系統的な物質学習のキーワードは、やはり粒子である。粒の考えはなぜ重要なのか？小中学校で粒子をどのように扱えばよいのか？などについて、教材や授業の紹介を含めて講義する。 | | | |
| 連絡事項等：この講座は主に小中学校の中身なので、基本的には小中学校の先生を念頭に置いています。そのことを了解の上で、小中学校の学習内容に興味のある高校の先生の受講は可能です。 | | | |

【 講座番号 9 】

| | | | |
|--|------------|----------|----|
| 音楽科指導理論の構築に向けて | 白石文子 | 8月10日(金) | |
| 教科指導(音楽) | 幼・小・中・高・特支 | 演習 | 8名 |
| 研修者のこれまでの実践経験を踏まえ、情報交換・議論・理論書等を活用しながら、現時点での自身の音楽指導理論をまとめると共に、今後の独自の指導理論構築の足掛かりを得る。 | | | |
| 持ち物：・年間指導計画、指導案、報告書等、自身の音楽教育観が示されている資料。 ・書籍、論文等、参考になる音楽教育論が示されている資料。 | | | |

【 講座番号 10 】

| | | | |
|---|------------|----------|----|
| やさしいアレンジ | 大場陽子 | 8月10日(金) | |
| 教科指導(音楽) | 幼・小・中・高・特支 | 演習 | 5名 |
| 前半は音楽の基礎知識(楽典等)の確認と初歩的な和声法を学び、後半は各参加者の希望にあわせて個人レッスン形式で編曲に取り組みます(例：簡単なピアノ伴奏づくり、単声の歌曲を合唱に編曲、等)。 | | | |
| 持ち物：五線紙、筆記用具、編曲したい作品のオリジナル楽譜 | | | |

申込締切：平成30年6月29日(金)【必着・厳守】

【 講座番号 11 】

| | | | |
|---|------------|-----------|-----|
| はじめての日本の音楽・アジアの音楽の指導: からだで学ぶ | 川口明子 | 12月25日(火) | |
| 教科指導(音楽)・総合的学習・その他の現代的教育課題 | 幼・小・中・高・特支 | 講義・演習・実習 | 15名 |
| <p>・日本の伝統音楽(わらべうた、お囃子、民謡、民俗芸能)の授業プランの紹介と模擬授業。国際理解教育や総合的学習とリンクした事例も扱う。</p> <p>・アジアの伝統音楽の例として、インドネシアの音楽文化をとりあげ、鑑賞の授業例紹介、および西ジャワの打楽器合奏ガムラン・ドゥグンと竹楽器アングルンのアンサンブル実習も行う。</p> <p>・日本・アジアいずれの事例も、「からだで学ぶ」活動を主とする。</p> | | | |
| <p>持ち物:持っている方はリコーダー</p> <p>連絡事項等:座って演奏しやすい動きやすい服装で。</p> | | | |

【 講座番号 12 】

| | | | |
|--|------|---------------|----|
| 静物を題材としたアクリル絵具・油彩混合技法についての指導研究 | 溝口昭彦 | 8月7日(火)～8日(水) | |
| 教科指導(芸術 美術(表現・絵画)) | 高・特支 | 実習 | 5名 |
| <p>高校美術 表現・絵画表現「アクリル絵の具・油彩の段階的使用による観察描写」を題材に、授業において実施可能な用具準備、作品制作方法を実践的に体験研究します。</p> | | | |
| <p>持ち物:○用具:カッター、マスキングテープ、アクリル絵の具[要チタニウムホワイト・ジェルメディウム・カラージェッソ(ローアンバー)・モデリングペースト]・油彩絵具一式[要 パンドル・テレピン・0号リセーブル筆・10号程度のリセーブルラウンド筆]・耐水ペーパー200番1枚</p> <p>○支持体 シナベニヤ4ミリ八つ切り程度1枚</p> <p>○題材 ダンボール1箱(長辺が35cm程度) グラス・布・果物 黒色画用紙四つ切り程度1枚</p> | | | |
| <p>連絡事項等:2日間の制作実習となります。学生と制作場所を共用します。</p> | | | |

【 講座番号 13 】

| | | | |
|---|-------|----------|--|
| サッカーを教材とした指導のコツ | 鎌田安久 | 8月2日(木) | |
| 教科指導(体育・保健体育 サッカー実技) | 小・中・高 | 講義・実習・実技 | |
| <p>体育が苦手な小学校の先生でも楽しく指導できるサッカー授業のポイントについて実技を体験してもらいながら解説します。中学・高校実技でも活用できます。</p> | | | |
| <p>持ち物:運動服 体育館シューズ 運動靴。水分補給の準備をお忘れなく。</p> | | | |

【 講座番号 14 】

| | | | |
|--|------|---------|-----|
| 教師もパワーアップ! ウェイト・トレーニングの実践と指導 | 澤村省逸 | 8月3日(金) | |
| 教科指導(保健体育) | 中・高 | 講義・実習 | 10名 |
| <p>筋力・パワーを効果的に高めるトレーニングについて実践をとおして理解し、各年代に合わせた適切な体力づくりを模索する。さらに、教師の健康、運動部の指導にも活かせる内容としたい。</p> | | | |
| <p>持ち物:トレーニングウェア、インドアシューズ、飲み物(熱中症予防)</p> <p>連絡事項等:専門とする(得意な)スポーツ種目を事前に連絡すること。(中堅教諭等資質向上研修申込書に記載するか、edujim@iwate-u.ac.jp宛メール願います)</p> | | | |

【 講座番号 15 】

| | | | |
|---|------------|-----------|-----|
| 体育・保健体育授業の指導と評価の一体化 | 清水 将 | 12月25日(火) | |
| 教科指導(体育・保健体育) | 幼・小・中・高・特支 | 演習 | 20名 |
| <p>体育・保健体育授業の指導と評価の一体化を図るため、単元構造図を用いて授業づくり、教材づくりを含めて様々な立場の参加者と演習する。</p> | | | |

申込締切:平成30年6月29日(金)【必着・厳守】

持ち物:各校種の学習指導要領解説(体育・保健体育編)
 課題:学習指導案(任意の領域・単元)を作成し、2部持参してください。(1部提出)
 連絡事項等:所属校の年間計画を持参してください。

【 講座番号 16 】

| | | | |
|---|------------|-----------|----|
| 他教科との関連から学ぶ楽しい被服科学 | 天木桂子 | 12月26日(水) | |
| 教科指導(家庭科の他、全教科に関連します) | 幼・小・中・高・特支 | 講義・実験 | 8名 |
| 被服学は単なる家庭科の一分野との印象が強いと思いますが、本講座では、「着る、まとう」を題材に、化学、工学、医学、心理学、美学、地理学などあらゆる面から教科を越えてアプローチします。簡単な実験も行います。家庭科に直接関係していない方にこそ受講していただきたい講座です。 | | | |
| 連絡事項等:簡単な作業を行いますので、気楽な普段着(Tシャツとジーンズで可)で受講してください。 | | | |

【 講座番号 17 】

| | | | |
|--|-----------|----------|-----|
| 中学校・高校で活用できる英語学習タスク | ホール ジェームズ | 7月30日(月) | |
| 教科指導(外国語) | 中・高・特支 | 講義・演習 | 20名 |
| タスクと第二言語習得の関係に触れてから、生徒の4技能の強化、動機づけの向上、到達度の評価に活用できる言語学習タスクを体験的に勉強します。対象者は中学校と高校の教員です。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 18 】

| | | | |
|--|-----------|---------|-----|
| 小学校で活用できる英語学習活動 | ホール ジェームズ | 8月2日(木) | |
| 教科指導(外国語) | 小 | 講義・演習 | 20名 |
| 適切な外国語到達目標を考察してから、この目標に合った絵本の読み聞かせ、コミュニケーションタスク、アルファベット学習活動等を体験して、これらの活動を分析する。使用言語は日本語と英語です。 | | | |
| 連絡事項等:講師(ホール ジェームズ)の小学校英語活動のワークショップを受講したことがあれば、事前に教えて頂きたい。出来るだけ、受講生に新しい活動を紹介したいと思っています。 | | | |

【 講座番号 19 】

| | | | |
|--|----------|---------|--|
| 栽培学習における栽培技術の基本について | 金澤俊成 | 8月2日(木) | |
| 総合的学習 | 幼・小・中・特支 | 講義・実習 | |
| 栽培に関する基礎的な知識や技術的内容を理解するとともに、栽培学習を行うための基本的な栽培技術を習得する。また、学校内の環境を利用した栽培学習の計画や実施における要点等について理解する。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 20 】

| | | | |
|---|--------|---------|-----|
| 非行や犯罪に関する教育現場と多機関連携について | 菊地 洋 | 8月8日(水) | |
| その他の現代的教育課題 | 中・高・特支 | 講義 | 15名 |
| 少年非行の対応について多機関・団体連携が求められています。少年鑑別所法改正などによって司法相談窓口は拡充されたのですが、まだ十分には知られていません。この講座では、非行や犯罪が起こる前に教育現場でできること、または、事案が発生した後に少年をどのように支えるのかなどを警察、保護観察所、少年院・少年鑑別所の法務教官などから、それぞれの知見を学ぶことを目的とします。 | | | |
| 連絡事項等:講義前半部分(午前)は大学での講義、講義後半部分(午後)は盛岡少年院へ場所を移して実施します。移動は各自でお願いします。なお、少年院・少年鑑別所への参観には事前に名簿の提出が求められていますので、受講者が確定次第、教育学部事務室から参加者の皆様へ住所等をお伺いさせていただきます。 | | | |

申込締切:平成30年6月29日(金)【必着・厳守】

【 講座番号 21 】

| | | | |
|---|-------|----------|--|
| 道徳教育を哲学教育の観点から構想する | 宇佐美公生 | 8月10日(金) | |
| その他の現代的教育課題 | 小・中・高 | 講義 | |
| 教科化が始まった「道徳」について、哲学教育の視点から「道徳」の意義を検討すると共に、道徳を「教える」ことに関する課題を解説した上で、「特別の教科 道徳」に「哲学対話」の手法を導入する試みを紹介する。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 22 】

| | | | |
|--|------------|-----------|-----|
| 通常学級における特別支援教育の実際 | 佐々木全 | 12月27日(木) | |
| その他の現代的教育課題 | 幼・小・中・高・特支 | 講義・演習 | 40名 |
| 児童・生徒理解と、それにもとづく支援方法の開発について、個別の指導計画の作成と活用のプロセスを通して解説、演習をします。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

【 講座番号 23 】

| | | | |
|---|------------|-----------|--|
| 記憶と学習の心理学:学習科学を中心に | 岩木信喜 | 12月27日(木) | |
| その他の現代的教育課題 | 幼・小・中・高・特支 | 講義 | |
| 学習を規定する要因としての記憶力とその個人差、記憶過程に影響する諸要因、記憶を定着させる学習手続き、これらを中心とした講義構成になっています。 | | | |
| 持ち物・課題・連絡事項等 特になし | | | |

申込締切：平成30年6月29日(金)【必着・厳守】